

平成26年度 第2回 図書館協議会会議録

日時 平成27年2月24日(火) 10:00から11:00

場所 松原図書館 集会室

出席者 図書館協議会委員

吉岡英治委員、坂本健二委員、中村勝成委員、浦野迪子委員、葛城栄枝委員、砂山雅江委員、内田展子委員、難波愛子委員、加藤孜子委員

事務局 手束参事、三浦係長、春名主査

○(手束参事) 第2回図書館協議会をはじめます。議事録作成のため録音をする。また市民図書館長は健康状態がすぐれず欠席する。

各委員自己紹介。

○(葛城会長) 傍聴席を設けている。注意事項を厳守してください。資料の確認。

議題1. 松原市図書館条例の一部を改正する条例の提案について

○(手束参事)

1. これまでの経過提案内容の説明(配布資料を読む)
2. 新町図書館の廃止について(配布資料を読む)
3. 松原南図書館の休止について(配布資料を読む)

図書館協議会で平成22年に6回の会議を経て、「図書館協議会とは別の組織で図書館のあり方を考えていく」という意見をいただいた。そのまとめの中で「図書館のあり方としては現在松原市が推進している、行財政改革の立場から図書館の運営にかかるコスト削減の必要性は理解できる。その中で今後については委員会を組織してあり方については答申をもとにして、継続して審議を重ねてください。」との意見をいただいた。それが「図書館の適正配置及び規模、ならびに市民サービスの充実などについて」の答申となった。この答申の内容をふまえつつ、耐震診断の結果もあり新町図書館につきましては廃止して公民館に転換していく。新町図書館は3中校区で松原図書館に近いという立地条件の中で見直しをはかるといふ考えで提案をしている。松原南図書館は単独施設で耐震の補強が必要とあるので一旦休止をし、図書館の適正配置の答申に基づき、分館のあり方を考えていきたいことを報告する。

○(砂山委員) 適正配置等検討委員会では中央館を作ってから分館のあり方を考えるという方針だったと思う。協議会で検討もなく閉館・休館が決まったのはおかしい。市民の意見を聞いてから松原南図書館の今後を決めてほしい。

○(手束参事) 中央館については今後充実したものを建てていくことを考えている。分館は小規模でデメリットがある。新町図書館は市内部で決めて公民館機能を拡充させていく提案になった。松原南図書館については答申の内容をふまえ、市の内部で調整して今後どのように活用していくかを示していきたい。松原南図書館で活動している団体の拠点は確保したいし、また学習スペースの確保も考えているが市内部で調整が必要。

○(加藤委員) 新町図書館を青少年会館に移すことはできないか。

○(手束参事) 青少年会館に移すことは考えていない。

○(加藤委員) 青少年会館に図書館ができれば講演会などもできるようになり、子供の基礎学力が上がり、地域のためになる。小さい図書館は要らないが、特色のあるしっかりした図書館がほ

しい。

○（内田委員）新町図書館の廃止は驚いた、家から近い場所にある図書館なので残してほしい。

○（葛城会長）新町図書館の廃止が協議会にかかる前に議会に提案されてしまい残念だ。答申に基づき何か提案されてから分館の廃止等になるものと思っていた。

○（難波委員）親子で一緒に図書館に行ける家庭ばかりでないので、子供が一人で行ける身近な図書館は大切である。それなのに市民に問いかけもなく議会に提案されたのは困る。替わりの対策として学校図書館に人が配置されるとか、中央館が出来るということもないのはおかしい。

○（手束参事）松原市の図書館は歩いていける範囲にあるというのが売りだったが、協議会の中でも、コスト面とかを踏まえたうえで考えていくのは仕方がないことだが、高齢者などについて配慮するよう求められていることはわかっている。今回協議会に報告が遅れたことはおわびします。今後は協議会で意見をいただいてどの様に運営していくか市内部で検討していく。

○（砂山委員）適正配置等検討委員会の中でも、老朽した8館を維持しバリアフリー化することは難しいことは指摘されていた。縮小されていくことは仕方がないが、まず大きな中央館を建てていくことを実現させてほしい。市民の意見を十分聞いてほしい。

○（浦野委員）保育園を運営しているので、保護者と園児が絵本を読む場所を提供することはできる。人件費が高騰しているので図書館活動を維持していくためにはボランティアの育成は不可欠だ。司書の資格はあるが活動していない人を掘り起こして、小中学校での活動を図書館が組織化して行ってほしい。コストがすごくかかるので、無くなるのは仕方がない。

○（手束参事）松原図書館は中央館としては小さい。しっかりした中央館を将来的に建てて、分館をどうしていくかはいろんな意見を聞いて決めていきたい。今回耐震のこともあり閉館・休館に進んだことは申し訳ない。

○（葛城会長）松原南図書館を拠点におはなし会などのボランティア活動をしてきたが、松原南図書館が休館になると拠点がなくなり、本がなくなるとどのように活動をしていくか考えていけない。

○（坂本委員）新町図書館の本はどうなるのか。

○（手束参事）2万冊ほどあるが、利用価値の高い資料は松原図書館へ持っていく。

○（坂本委員）松原南図書館は休止なので資料はどうなるのか。

○（手束参事）本が約4万冊と多いのですべてを松原図書館に持ってこれないが、利用の多いものは持ってくる。松原南図書館に置いておく部分もある。

○（中村委員）本校の隣の恵我図書館へ子供たちが行って活用している。近くに図書館があるのは非常に貴重価値がある。財政的にすべての図書館の維持は難しいと思うが、今後2つの図書館以外の図書館はどうなっていくのか。

○（手束参事）他の館はほとんどが併設施設です。今後どうして行くかは内部で検討していく。平成27年度はそのまま開館する。

○（中村委員）今後の図書館のビジョンをはっきりさせて協議会に提案して委員の意見を聞いてほしい。

○（吉岡委員）中学生になると校区の規制がないが、身近な図書館は幼児期からの読書への親しみにつながる。小さいころからの読書が学力の向上につながる。読書活動だけでなく、体験活動

など図書館が地域の文化の一つの拠点になっている。中央館機能の向上をもとに地域文化の発信の場所の継続も考慮して今後を考えてほしい。中央館までいけない人の利用が切り捨てられないように考え、利用者の年代を広げる必要がある。

○（坂本委員）市の施策として学校に図書館ボランティアがいる。ボランティアと意見をかわすなかから本の展示の仕方などを変えるなどのアイデアがあり、それが本の利用につながった。どのような本をどのような人が利用しているか、どの本が利用されていないかを把握し、市民サービスにつなげていかないといけない。

○（加藤委員）松原西小学校の図書室はいろいろ工夫している。そのため学力が向上している。恵我小学校や松原中学の学力が高いのは図書館が下地にあると思う。以前に各図書館を回り、図書館の特色を知った。8館を維持することは無理だが、図書館の必要性も解っている。

○（葛城会長）素敵な図書館が周りにたくさんできている。子どもたちや高齢者が図書館に行ったらいろんなことが出来る、資料もある、本も読めるというようになってほしい。

○（浦野委員）生涯豊かに生きていく栄養があるのが本である。図書館をもっと充実させてほしい。

○（葛城会長）8館に本が分散されているので利用しにくい。中央館を充実していくなかで、いろいろな施策をしていってほしい。

議題2.「松原市民図書館活動報告 2013 年度」について

○（手束参事）提案内容の説明

活動報告 7 ページ 蔵書数について、以前は 50 万点あったが 2013 年で 443,736 点うち児童書は 15 万 5 千点に減ってきている。各分館の所蔵資料は松原図書館が 86,000 冊、書庫が 12 万冊弱ある。新町図書館は 24,000 冊、松原南図書館は 39,000 冊でこの 2 館について提案している

活動報告 11 ページ 年度別貸出冊数についてはいろいろな要因があり減ってきている。1999 年が最大で 76 万 3 千冊の貸し出しがあったが 2013 年は 58 万冊になっている。

活動報告 12 ページ 年度別登録者の推移とは、2013 年度中に 1 回でも図書館を利用した人の数で、16,127 人が利用した。図書利用カードを持っている人は約 2 万人である。人口の 13.1%が利用している。

活動報告 15 ページ 年度別サービス指数の中の 5、市民一人当り図書購入費は 2004 年には 205 円だったが、2013 年は 147 円と予算的には下降傾向にある。

活動報告 17 ページ フリーサービス（障害者サービス）で資料の形態は点字図書やデージーなどがある。他館から借りることが多いが、このような貸し出しをしている。

活動報告 30～31 ページ 学校との連携協力委員会の活動で図書館見学に各小学校の 3 年生が来ている。中学生は職業体験に来ている。近くの図書館を利用して職業調べや校区探検・聞き取り調査・簡単な職業体験をしている。以上簡単に説明した。

○（浦野委員）プラネタリウムは今後なくなるのか。

○（手束参事）今後図書館のあり方が決まった段階で継続になるか決まる。来年度は休止。

○（加藤委員）適正配置等検討委員会に図書館の専門の人を置くということは考えていないか。

そこで大きな中央館のことを決めるのがよいのではないか。

- （手束参事）今のところ適正配置等検討委員会の活動予定はない。
- （葛城会長）市民が利用するのだから市民の声も聞いてほしい。また必要ができれば協議会からも適正配置等検討委員会の開催を提案すればよい。
- （手束参事）具体的な予定が決まった段階で図書館協議会にはかり意見をいただく。
- （葛城会長）図書購入費がどんどん減っている。その中でも児童書が大切だ。
- （手束参事）活動報告32ページ 資料費について 3カ年は同額だったが今年度は1770万円に減った。
- （浦野委員）図書館でのベストセラーの複本購入が新聞で問題になっていた。
- （手束参事）予約の多い本は複数購入しているが、長いものは数ヶ月待ってもらっているものもある。同じ本の複本を多く買うより、違うタイトルの本を多く買いたい。
- （葛城会長）集会室の自習室としての利用についてどうか。
- （手束参事）学校の休みのときに自習室として使用している。校区の関係もあるのか小学校低学年より高校生以上が多く、毎日利用している人もいる。集会室を開放していないときも、各館の開架スペースに机を置いていつでも自習に利用してもらっている。
- （葛城会長）子供たちは自習に利用できると知らないのではないか。もっとPRすれば図書館の利用も増える。以前は図書館で自習はできなかった。
- （浦野委員）予定よりも利用がとても少ないと聞いている。
- （手束参事）利用した人からお礼のメールが入っていることもある。PR不足があったかもしれない。毎日自習に使えるわけではないのでPRが難しい。
- （葛城会長）自習室の年間の予定をお知らせしたらどうか。自習室に来ることによって図書館で本に出会うことも多くなる。
- （浦野委員）自習室は今年もあるのか
- （手束参事）小学校の長期休みに開室する。夏休みにはお楽しみ会的なもののために1～2日取るがそれ以外は自習室にする。
- （葛城会長）予算は利用者が少なくなると減るのか。
- （手束参事）予算は市全体で考えないといけない。
- （葛城会長）高齢者が開館前から待っている。図書館の利用が滞在型になっている。
- （内田委員）「かわちもめん」で自習室のことや予約の多い本・利用の多い本のことなど知らせている。
- （手束参事）「かわちもめん」やHP・広報でPRしている。
- （砂山委員）予算で資料費も大切だ。また人件費にもお金がかかるが図書館にとって人も大切なので人を育てていき、行きたくなる図書館にしてほしい。
- （葛城会長）職員がいて利用者と本をつなげいくことが図書館の機能だと思う。ぜひ人を育ててほしい。他に意見がないようなのでこれで協議会を終了する。